

つなぐ 未来に

JA掛川市 令和6年度 上期決算報告

JA掛川市では、令和6年3月1日から8月31日までを上期として仮決算を行っています。厳しさ続く社会情勢の中、懸命に事業に取り組んだ結果、事業総利益から事業管理費を引いた事業利益は1億6,698万円となりました。

下期も事業目標の達成に向けた取り組みを強化し、農業と地域社会に根ざした組織として、農業振興を通じて社会貢献を目指していきます。

持続可能な農業と豊かな地域社会を目指して

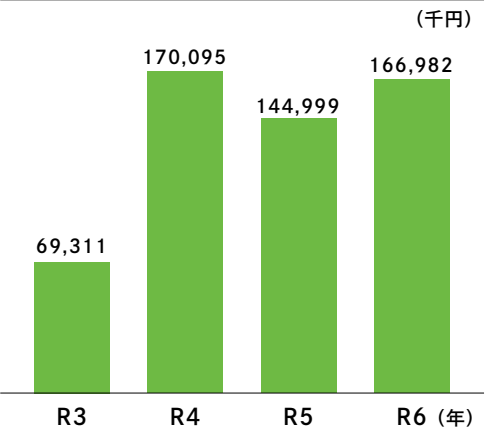


JA掛川市 令和6年度 上期決算報告

上期決算ハイライト

	実績	前年同期比（増減）	進捗率
貯金	1157億円	+0.2%	100.9%
貸出金	350億円	+3.0%	99.0%
共済	407万ポイント	-1.8%	57.8%
購買	14億1千万円	-0.7%	60.7%
販売	22億円	-0.1%	61.6%
緑茶加工	3億円	+12.6%	58.0%
事業利益	1億6,698万円	+0.15%	

上期事業利益



- 販売** さすが市は順調に推移し、販売高前期比+4,500万円。茶は販売高、単価厳しく1番茶、2番茶合計で前年比-4,900万円。
- 購買** やすらぎ供給高前年比+4,900万円、農機具供給高前年比+4,700万円と増加。肥料供給高は減少。
- 茶加工** 業務用などの需要が回復基調で、製品販売高前年比+3,400万円。
- 信用** 貯金額前年より2億増加。貸出金は住宅ローン、農業融資の増加で前年より10億増加。
- 共済** 長期共済は前年並みに推移、短期共済は前年比96%の進捗。

上期の事業報告と下期の取り組み

営農

販売力強化に向けた各部会への情報提供など、生産者と連携・共有を図りました。定期的な巡回や部会強化研修会などにより、統一感ある指導体制に取り組みました。

米

- 展示圃調査データをもとに穂肥講習会の開催（8地区）
- ヘリ防除における効率的かつ飛散防止対策の実施

園芸

- 県協議会を中心とした協調出荷による販売力強化
- 5JAによるイチジク契約販売の実施（日量1、120パック）
- さすが市出荷者へ苗の供給（ハクサイ、ブロッコリー、キャベツ）



- 遠州・和栗プロジェクトによる栽培推進、モデル園地作成

- 果樹産地構造改革計画によるレモン新規栽培

畜産

- 肉牛枝肉共励会や乳質共励会への参加

さすが市

- JA間連携による販売品目の充実
- 出荷量確保に向けた種子、苗の提供
- 新規出荷者の増加（23名）

下期に向けて

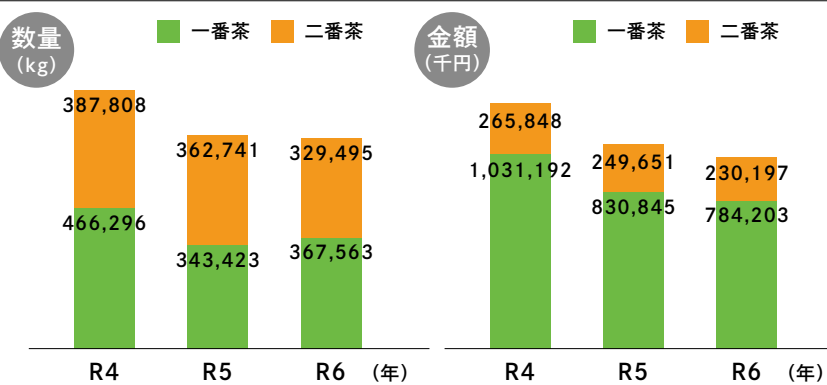
年間事業計画	
一般販売	917,000千円
畜産	442,000千円
さすが市	843,000千円

- 有利販売に向けた市場や販売先への細やかな情報提供
- 細かなニーズや注文への対応
- 5JAでの契約販売
- 育苗センター、ライスセンター、苺パックセンターの円滑な運営
- 複合経営作物（栗、レモン、イチジク、レタス、キャベツ、ブロッコリーなど）の導入推進
- 果樹補助金申請手続き（栗苗木助成など）

茶

本年度から検証が始まった茶業版フェアトレードの仕組みについて、検討や協議を重ね、茶業者の所得向上実現に向けた事業推進に取り組みしました。計画的な厳選仕入れを行い、販売強化に努めました。

掛川茶市場取扱実績



茶業

○新たな分析機を導入した土壌診断と荒茶成分分析の実施（土壌診断143点、成分分析一番茶420点、二番茶531点）

○改植支援事業を活用した複合経営の推進（28圃場、約4ha）、有機JAS規格茶への転換（9圃場、約1.3ha）

○茶業版フェアトレードの実施

○委託販売の強化（新規顧客：粉碎加工1件、受託加工2件）

下期に向けて

年間事業計画

茶市場加工	1,380,000千円 530,000千円
-------	--------------------------

○荒茶成分分析、土壌診断データ解析、肥料推進

○フェアトレード制度構築に向けた検討

○有機JAS規格茶の栽培、製造技術向上の研究

○品評会成績と茶が持つ効能の発信

○営農経済部と連携した複合経営の推進活動

○リーフ茶販売の取り組み強化

○給茶機用茶の販売取り組み強化

○ホームページでの業務用商品販売

購買

快適に利用できる購買事業を目指して、ニーズに対応した生産、生活資材を提案し、推進活動や展示会販売を行いました。

下期に向けて

年間計画

共済 7,050,000ポイント

○共済推進強化月間の実施（9月）

○保障点検活動の強化

○紹介キャンペーンの実施



総務

組合員・利用者ニーズに応えられる組織として、総合事業を活かした組合員加入促進活動や職員スキルアップ研修を展開するとともに、事業管理費の更なる削減による財務内容の健全化に努めました。

上期事業別総合実績

令和6年3月1日～令和6年8月31日

（単位：千円）共済はポイント

事業	年間計画	8月末実績	前年実績	計画対比	前年対比
貯金	114,700,000	115,738,531	115,533,688	100.9%	100.2%
貸出金	35,400,000	35,058,529	34,028,164	99.0%	103.0%
長期共済	7,050,000	4,075,438	4,148,537	57.8%	98.2%
生産購買	1,603,000	1,005,726	1,083,709	62.7%	92.8%
生活購買	720,500	404,438	335,521	56.1%	120.5%
一般販売	1,359,000	664,139	680,903	48.9%	97.5%
さすが市	843,000	481,798	436,676	57.1%	110.3%
茶販売	1,380,000	1,062,853	1,111,891	77.0%	95.6%
緑茶加工	530,000	307,469	272,955	58.0%	112.6%

損益の状況

令和6年3月1日～令和6年8月31日

（単位：千円）

科目	年間計画	令和6年8月末実績	計画対比
事業総利益	1,934,000	1,105,656	57.2%
（信用事業）	749,000	402,859	53.8%
（共済事業）	514,000	294,073	57.2%
（購買事業）	383,000	236,881	61.8%
（販売事業）	151,000	86,139	57.0%
（加工事業）	140,000	91,885	65.6%
（その他事業）	45,100	17,668	39.2%
（指導事業）	▲45,400	▲23,849	52.5%
事業管理費	1,922,000	938,674	48.8%
（人件費）	1,360,000	655,953	48.2%
（施設費）	304,000	155,227	51.1%
（その他）	258,000	127,494	49.4%
事業利益	12,000	166,982	1,391.5%
事業外損益	92,000	46,661	50.7%
経常利益	104,000	213,643	205.4%
特別損益	▲23,000	▲4,660	20.3%
税引前当期利益	81,000	208,983	258.0%

事業管理費率
84.90%

労働分配率
59.33%

自己資本比率
17.46%

下期に向けて

年間事業計画

生産資材	1,603,000千円
生活資材	720,000千円

○秋の展示即売会を中心とした販売強化

○ニーズに合う商品提案

○年特肥料の推進強化

○5JA事業間連携協議会による銘柄集約と新銘柄拡大

組織活動 組合員支援

行政、関係機関と連携を図るとともに、継続した情報収集を行いました。朝市の開催、農業体験など、地域独自の農業振興を実施しました。



信用

農業、地域振興における金融仲介機能の發揮に努め、貯金金利の上乗せや生産者の所得向上に寄与する企画を展開しました。



下期に向けて

年間事業計画

貯金	114,700,000千円
貸出金	35,400,000千円

○冬期特別推進運動、年金指定替え強化月間、ライフプランサポートの実施

○農業者向け融資の増強に向けた出向く活動

○住宅関連会社への営業活動の強化

○イベント参加、住宅公園と連携した住宅ローンPR

共済

「組合員・利用者一人ひとりに寄り添った安心と満足の提供」を基本方針とした活動を心掛け、推進活動に取り組みました。

損益の状況と事業別総合実績を報告します